

あの頃も今も
何ひとつ変わらない…



北高 第44回 旭川北高等学校同窓会

旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会

とき／2009年8月8日(土) 午後6時より

ところ／旭川グランドホテル

3階グランドホール【旭川市6条通9丁目】

主催／第44回旭川北高等学校同窓会実行委員会



校 歌

mf 明るく普通の速さで

PP

P

a tempo

allargando

f

校
歌

木村五一 津田甫 作詞
作曲

三、かぐはしき緑の夕
白瑠の樹氷咲く朝
眉秀で魂澄む子等が
まだみして誓を謳ふ
見よ見よ祖国の前途は新
止むなき希望に光明を添へむ

二、逞しき腕の力は
遠つ代の祖に受けたり
汗あゆるその勤労の
成せる郷土豊けき穫
とこしへ栄行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

一、新しき文化の華の
燦爛とやがて薰らむ
水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ
溢れる歓喜いざ手を把りて
止むなき向上に真理を尋めむ

Contents

もくじ

あの頃も今も
何ひとつ変わらない…

同窓会長あいさつ	1
学校長あいさつ	2
平成20年度会務決算報告	3
同窓会規約	4
札幌・東京・岩手同窓会から	5
恩師から	7
スタルヒン球場の今昔	11
卒業生の北高を振り返って	15
卒業生の近況チェック!!	17
同窓生から	19
今春の進路状況	21
部活動報告	22
同窓会役員および幹事	27
実行委員長あいさつ	29
次期当番期あいさつ	29



同窓会会长の四年間 大変お世話になりました



北海道旭川北高等学校同窓会長

(13期) 西 館 勝 友

高橋、山形両会長の半ば強制的?

います。

とも云える様な推薦で会長を引き受け二期四年が経ちました。今年も大変な不況の中、三十三期の当番期の皆さん本当に御苦勞様です。大変でしたでしようがしかし、これから先の皆さんの同期の絆はここから始まると言つて過言ではありません。歴代当番期をされた皆様が実感されている事であります。

この最悪の経済状況の中で総会に向けて御助言や御指導頂いた皆様を始め広告協賛を頂いた全ての方々に、実行委員会共々心から厚く御礼申しあげます。又、本日は釣校長を始め東京同窓会から浦木幹事長(十三期)札幌同窓会中島会長(十五期)岩手同窓会牛崎会長と共に沢山の御来賓に御出席賜わり誠にありがとうございました。

来年は北高創立七〇周年の年であります。全国の同窓の皆さんに御協力を頂いて大盛会なものになつたら何とか四年間務めさせて頂きました。存分な働きが出来ていなかかも知れませんが、皆さんに心からお世話になつたお礼を申し上げ退任させて頂きます。

北高同窓会が今後又、大きく飛躍良いと期待をしている次第です。第十四期、十八期、P.T.A.、そして北高の先生方と二度準備委員会が開催され、これまでの活動を評価して顶きました。

学校からは大いに頼りにされている同窓会であります。

市中、市高を経て北高出身の高橋

会長、山形会長の後八代目の会長として、先輩諸兄の御指導を頂き同期(十三期)や役員の皆さんに支えられ、後輩の皆さんにも助けられ乍ら何とか四年間務めさせて頂きました。

44th
Graduates' association

過去も現在も同窓生の顕著な活躍が有つて

全国の同窓生の顕著な活躍が有つて

『旭川に存在感のある学校』を目指して



北海道旭川北高等学校長

釣 晴彦

44th
Graduates' association

同窓会の皆様には、日頃より母校のためにご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、この四月に北海道の最西端にある松前高等学校より赴任いたしました。伝統校でもあり、進学実績も向上して注目されている旭川北高等学校に勤務できたことは、大変に光栄であります。微力ではありますが、少しでもこの学校に貢献できればと考えて日々奮闘しております。

高等学校は今、中学卒業生の減少で、戦後以来大きな改革が行われています。旭川北高等学校は、地元中学生が「魅力あり、入りたい学校」へと思い募れる学校として「旭川に存在感のある学校」となるよう教職員全員で全力を尽くしていく覚悟であります。

私事になりますが、最近いろんな所で「なになに同窓会」という案内や誘いを受けます。

私は親の職業のせいで転校が多く、小学校二校、中学校三校、高校一校、大学一校と渡り歩きました。そして教員になつて務めた高校は七校です。これだけの学校を経験して来ますと、

様々な形態の同窓会に係わってきました。私自身の同窓会、教え子の同窓会、赴任先の学校の同窓会等です。共通して言えることは、同窓会の集団は時間がたてば雰囲気も青春を取り戻したようになります。当時の時間空間の出来事を手探りして共有できる気分になれることがあります。不思議な時間です。お金では買えない貴重な経験

生の中で、かけがえのない存在かも知れません。今、個性、個性と呼ばれて、こども達が集団の仲間を大事にして思い出を共有する経験を置き去りにして、バラバラになつていています。同窓会の存在意義がこれからもつと問われていくことを期待しています。

本校は来年平成二十二年に創立七十周年を迎えます。本校の卒業生は、二万四千八百四十六名になります。歴史と伝統のある本校のため、また、子ども達が旭川北高等学校を卒業した誇りと仲間の連携を高めていくためにも、同窓会の皆様の絶大なるご協力とご支援が必要であります。今後とも宜しくお願ひいたします。

Graduates' association

会務・会計報告

会務報告
会計報告

平成20年度会務報告

会務報告
会計報告

7月11日	6月23日	6月19日	4月19日	4月8日	3月1日	2月28日	21年1月31日	12月15日	11月26日	9月19日	6月21日	4月18日	20年4月8日	
8月3日	北高校祭（同窓会露店参加）	第44回役員会（旭川グランドホテル）	役員・幹事長会議（ポスター、チケット配布）	入学式	卒業式	入会式	第3回役員会・幹事長会、新年会 (旭川グランドホテル)	第2回役員会（旭川グランドホテル）	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	当番期引継会 (札幌同窓会(西館会長他4名参加))	ゴルフコンペ (学校祭収益金贈呈)	会計監査 (北高校祭(同窓会露店参加))	役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）	入学式
7月12日	北高校祭（同窓会露店参加）	第44回役員会（旭川グランドホテル）	役員・幹事長会議（ポスター、チケット配布）	入学式	卒業式	入会式	ノースウインド第16号発刊	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	当番期引継会 (札幌同窓会(西館会長他4名参加))	ゴルフコンペ (学校祭収益金贈呈)	会計監査 (北高校祭(同窓会露店参加))	役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）	入学式
8月12日	北高校祭（同窓会露店参加）	第44回役員会（旭川グランドホテル）	役員・幹事長会議（ポスター、チケット配布）	入学式	卒業式	入会式	ノースウインド第16号発刊	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	当番期引継会 (札幌同窓会(西館会長他4名参加))	ゴルフコンペ (学校祭収益金贈呈)	会計監査 (北高校祭(同窓会露店参加))	役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）	入学式
8月23日	北高校祭（同窓会露店参加）	第44回役員会（旭川グランドホテル）	役員・幹事長会議（ポスター、チケット配布）	入学式	卒業式	入会式	ノースウインド第16号発刊	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	北高創立70周年記念打ち合わせ（北高校会議室）	当番期引継会 (札幌同窓会(西館会長他4名参加))	ゴルフコンペ (学校祭収益金贈呈)	会計監査 (北高校祭(同窓会露店参加))	役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）	入学式

旭川北高同窓会平成20年度一般会計決算書

○収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 楽 越 金	29,280	29,280	0	
2 同 窓 会 費	1,161,000	1,162,000	1,000	
1 入 会 金	504,000	508,000	4,000	254名×2000円
2 終 身 会 費	657,000	654,000	▲ 3,000	218名×3000円
3 雑 収 入	620	795	175	野全利子
合 計	1,190,900	1,192,075	1,175	

○支出の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総 務 費	834,000	818,461	▲ 15,539	
(1)事 務 費	20,000	13,756	▲ 6,244	消耗品費
(2)会 議 費	270,000	313,930	43,930	役員会、幹事長会等開催費
(3)通 信 費	40,000	30,875	▲ 9,125	切手、はがき、電話代
(4)印 刷 費	20,000	10,000	▲ 10,000	会議開催会場用印刷費
(5)慶 申 費	30,000	0	▲ 30,000	香典、生花、弔電
(6)支部活動費	110,000	110,000	0	札幌同窓会出席旅費、活動助成金
(7)学校事務費	20,000	0	▲ 20,000	学校事務局謝礼
(8)後 援 会 費	144,000	144,000	0	学校後援会費
(9)卒業記念品費	130,000	145,900	15,900	卒業生記念品
(10)後援事業費	20,000	20,000	0	学校祭協賛費
(11)総 支 出	30,000	30,000	0	後援会参加諸経費
2 文 化 費	250,000	262,050	12,050	ノースウインド第16号印刷費、活動費
3 予 備 費	106,900	4,000	▲ 102,900	花束代(北京五輪出場久保倉選手)
合 計	1,190,900	1,084,511	▲ 106,389	

○支出決算

(単位：円)

収入額	支出額	残高
1,192,075	1,084,511	107,564

残額107,564円は次年度へ繰越

○平成20年度 特別会計決算書

(単位：円)

收 入 の 部	支 出 の 部	残 金
第43回総会準備金返還	300,000	第44回総会準備金貸付
北高9期御祝儀(50名)	480,000	御招待者(北高9期生)会費
貯 金 利 子	1,085	馬鹿野郎五輪出場久保倉選手さん
前 年 度 練 越 金	591,320	35,175
合 計	1,372,405	585,175

(次年度へ
繰り越)

○同窓会資産

(単位：円)

累 構 額	平成20年度 積 立 額	合計累構額	摘要
9,165,534	21,821	9,187,355	積立額は貯金の利子

○同窓会記念事業基金

(単位：円)

累 構 額	平成20年度 積 立 額	平成20年度 支 出 額	合計累構額	摘要
1,841,945	200,587	0	2,042,532	積立額は実行委より寄付金と貯金の利子

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

第5章 役員

議決は出席者の過半数をもつてし、賛否同数のときは議長これを決す。

定例総会の開催時期は、前年度の定期総会において決定する。

臨時総会は、各期毎の当番でこれにあたる。

定例総会は、各期毎の当番でこれに、役員会の決定をもつて会長これを招集する。

総会は、次のことを審議する。

会務の報告、決算の承認、規約の改正、役員の選出、その他必要な事項

第8章 会計

本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもつてあてる。

本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもつて終わる。

事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

事務局員は、会長これを委嘱する。

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもつて目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

第2章 事業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行つ。

(1) 会員の親睦を図ること。
(2) 会誌及び会員名簿の発行。
(3) その他本会の目的を達成するために必要なと認める事業。

第3章 会員

第5条 本会は、次の名簿に該当する者をもつて構成する。

(1) 旭川市立中学校卒業者
(2) 旭川市立高等学校卒業者
(3) 旭川北高等学校卒業者
(4) (1)(2)(3)名号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

第4章 顧問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮詢に応ずるものとする。

第13条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、

オ その他庶務一般に関する」とこと。

ア 会計部

イ 文化部

ウ 事務部

エ 会計及び役員会に関する」とこと。

イ 規約の改廃に関する」とこと。

ウ 本会の涉外事務に関する」とこと。

エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関する」とこと。

オ その他庶務一般に関する」とこと。

第6章 総会

ア 本会の会計に関する」とこと。

イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関する」とこと。

ウ 本会の運営に関する」とこと。

エ 本会の承認がなければ改廃できない。

オ 本会の事務を処理する。

エ 本会の運営に関する」とこと。

オ 本会の運営に関する」とこと。

札幌・東京・岩手から

「ダーウィン誕生100年」



旭川北高校札幌同窓会会長
中 島 尚俊
(北高十五期)

二〇〇九年は、アメリカの新大統領バラク・オバマ氏の登場とともに始まつた世界同時不況、北朝鮮の核問題、中東諸国における政治的混乱等による閉塞状況の打開を新大統領に期待する声が圧倒的であった。オバマ氏の若さ、生い立ち、スピーチ力に人々は、変革の旗手としての役割を期待している。オバマ氏は、演説の中で、十五代大統領リンカーンについて語り、彼の言葉を数多く引用している。南北戦争を行い、奴隸解放を成し遂げたリンカーンに、変革者としての自分を重ねているのかもしれない。

二〇〇年前の一八〇九年二月十二日、リンカーンは生まれているが、全く同じこの日に英国で生まれた偉人がいる。それは、チャールズ・ダーウィンである。

ダーウィンは、エジンバラ大学で医学、ケンブリッジ大学でキリスト教神学を学んでいる時に、自然史への興味を持つた。そこで、イギリス海軍の測量船「ビーグル号」で五年間に渡って世界中を航海し、

野生動物や化石の分布を綿密に調査する機会を得て、一八五九年に著書「種の起源」の中で、自然界の多様性を最も良く説明できる進化の理論を発表した。

ダーウィンの進化論は要約すると、「力の強い種が生きながらえたのではない」「優秀な賢い種が生きながらえたのでもない」「環境の変化に応じて変化した種が生きながらえたのである」と言うことが出来ると思う。

このことは、生物界のみならず、会社経営についても同じことが言える。昨年秋以降の世界の企業動向を見ていると、それまで圧倒的な強さを誇っていた巨大銀行、自動車メーカーなどが従来のビジネスモデルから脱却できずに次々と経営が立ち行かなくなっている。一方では変化を先取りし、自らを変化させてきた会社は着実に成果をあげている。まさにオバマ氏が言う「Change」である。

一方で教育界は?旭川北高も単位制の採用など年々新たなシステム作りに取り組んでいるとのご報告をいただきている。少子化、私立学校の台頭など教育環境も激変していると思うが、是非、変化への対応力を發揮してもらいたいと考えている。

平成21年度札幌同窓会お知らせ



旭川北高校東京同窓会幹事長
浦 木 勲
(北十三期)

会費	場所	日時
5000円	すみれホテル 札幌市中央区北3条西2丁目	11月6日(金) 午後6時より

「東京のつどい」へようこそ!

北高東京同窓会「東京のつどい」は、二年に一度開催していますが、今年が開催年に当たり、早くも十四回を数えることになりました。

今年に入つてからの東京同窓会の活動としては、役員会(二月・五月)幹事会(三月・五月)を行い、国内の行事が少ない十月三日(土)を「東京のつどい」の開催日に決定し、会場は前回と同じマリオネット東京銀座ホテルで開催することになりました。

現在、役員・幹事一同が具体的な企画を進めていますが、ちなみに、前回は一二五名が出席し、来賓として校長の牧

わらぬ勢い・若さでお話しになつていたのが印象的でした。

また、十一期 澤田宏勝さんの絶妙な司会により、航空券争奪ジャンケン大会(エア・ドウ協賛)、故郷の物産を賞品として獲得できる好評のビンゴゲーム。

昭和三十五年甲子園初出場組の強打者十期会で活躍中の十二期 佐々木紀夫さんによる「千の風にのつて」など、素晴らしい唄の披露がありました。終了後は各期会で分かれての同期会、あるいは各期会による「千の風にのつて」など、素晴らしい唄の披露がありました。終了後は各

期会で活躍中の十二期 佐々木紀夫さんによる「千の風にのつて」など、素晴らしい唄の披露がありました。終了後は各期会で活躍中の十二期 佐々木紀夫さんによる「千の風にのつて」など、素晴らしい唄の披露がありました。終了後は各

第14回東京同窓会



日時 平成21年10月3日(土)
午後12時30分～2時30分
場所 マリオネット東京銀座ホテル
東京都中央区銀座6-14
電話 (03)3546-0111

「おひこくなせ」おひこく盛岡へ

旭川北高校岩手同窓会会長

牛崎 鎧二 (北六期)

最近は、同窓会としての活動を殆ど実施していない状況で、報告する話題がありませんので主目に反しますが、盛岡(岩手)の観光等について、ピアールさせて頂きたいと思います。

盛岡(岩手)にも、見どころは多々あります、主なものを二つ三掲載致します。

◇盛岡ってどんなところ?

盛岡市の歴史は、今からおよそ四〇〇年前、南部家二十六代信直公による盛岡城築城に始まります。

盛岡城の天守閣は、残念ながら明治維新後に破却されました。しかし東北三名城の一つに数えられたお城の雄大で堅牢な石垣は残りました。今では盛岡城跡公園として、市民や訪れる観光客の憩いの場となっています。

盛岡市の中心部は一見ビルが立ち並ぶ近代的な都市ですが、そこそこに江戸期・明治期の建築が数多く保存されており、城下町の風情が色濃く残っています。

・盛岡秋まつり 「山車」 9月14日～16日
はんてん姿の綺麗な若衆連にひかれて、華麗に彩られた英雄豪傑たちの山車が大八車の音をきしませて街中を練り歩きます。約三百年の伝統が息づいているこの祭りは、県下の一の賑わいを見せてています。

・盛岡さんさ踊り 8月1日～4日

東北地方の夏まつりは、盛岡の夜を彩るさんさ踊りで華やかに幕を開けます。参加者は四日間で約200団体、約三三、〇〇〇人にものぼり、延べ約一三、〇〇〇個の太鼓パレードは世界一。艶やかな衣装の踊り手との群舞は圧巻です。

また、日中行われる伝統さんさ踊り競演会 (市民文化ホール、盛岡駅前・滝の広場) も大変な人気です。

・盛岡冷麺

「盛岡冷麺」は、朝鮮半島北部出身で日本に移住してきた食道園の青木輝人さんの手により盛岡で誕生しました。小麦粉と澱粉による強いコシの麺が独特の歯ざわりを生み出しています。スープは牛骨・鶏肉等を煮込んで味付けしており、飲み心地良くコクもたっぷりなんせ」と、お待ちしてまーす。

◇盛岡の主なまつり
・チャグチャグ馬コ 6月第2土曜日

約二〇〇〇年の伝統をもつ南部駒の産地にふさわしい馬の祭です。約一〇〇頭の装束馬が鈴の音をチャグチャグと響かせながら、初夏の田んぼ道を、また市内を進む姿はのどかでしかも壯觀です。

・わんこそば
「わんこそば」は、祖先から伝わる「おもてなしの心」から生まれたこの地独特的伝統食文化です。宴の席で大勢のお客様をもてなすために考えられたと伝えられています。一口大の小分けにしたお蕎麦を様々な薬味と共にたっぷりと味わっていただけです。店舗によつても異なりますが十五杯前後で通常のもりそば一杯分。お給仕さんとの掛け合いも楽しい、盛岡ならではの「わんこそば」をぜひご賞味ください。前もつてのご予約をおおすすめします。

その他にも、「原 敬」「新渡戸 稲造」「宮沢 賢治」「石川 啄木」等、多くの著名人を輩出している土地柄です。現在、盛岡市は近隣町村との統合により、約三十万人の北東北の中核都市として発展しているところです。

なお、来年は「学校創立七十周年」と「同窓会設立四十五周年」の記念すべき年ですので、何等かの「力添えに成れば」と、考えて居ります。

内地 (本州)

に渡つて、年令の三分の二が過ぎ、「第二のふるさと」に成ります。したが、矢張り「心のふるさとは旭川」です。

最後に、もう一度「盛岡へ、おでつてくなんせ」と、お待ちしてまーす。

また、まちなかに多くの自然が息づいているのも盛岡の特徴です。市内を流れ

る三つの川(北上川・零石川・中津川)が緑多いまちと良く調和して、他の都市にはない潤いある風景を作り出しています。

・啄木祭 6月第1土曜日
啄木の故郷である玉山区で、毎年六月の第一土曜日に行われる催しです。啄木にちなんだ演奏や合唱などが行われ、各地から啄木文学のファンが集い交流を深めます。

・その他イベント
●裸参り(1月14・15・26日) ●大盛岡神輿祭(6月第1日曜日) ●北上川ゴムボート川下り大会(7月下旬日曜日) ●盛岡七夕まつり(8月4日～7日) ●盛岡城跡石垣ライトアップ(12月下旬～2月) ●全日本わんこそぞ選手権(開催日未定) ●御所湖まつり(7月最終日曜日) ●盛岡花火の祭典(8月上旬)

●盛岡舟っこ流し(8月16日) ●もりおか雪あかり(2月上旬) ●啄木忌(4月13日) ●玉山区夏まつり(8月) ●岩洞湖まつり(9月第3日曜日) ●啄木生誕祭かるた大会(2月) ●姫神山やま開き(5月第3日曜日) ●啄木学級(開催日未定)

・盛岡じやじや麺
「盛岡じやじや麺」は、もともと「炒めめうどん」という意味です。中国東北部の麺を参考に、白龍の高階貴勝さんが屋台から始めた麺です。麺と特製味噌を良く混ぜ合わせ、好みで、おろししょうが・酢・にんにく・ラー油を加えて食べてください。食べるほどにくせになる味わいです。なお、麺と具は全部食べきらずに少しだけ残しておき、「ちーたらん(鶏蛋湯)」と注文してください。おいしい玉子スープを味わうことができます。味噌に工夫を凝らした各お店の味をお楽しみください。

恩師の近況

8組担任・渡部陽介先生におかれましては、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

1組



なまけものの生活

木崎 茂

退職して六年が過ぎました。退職して二年間は私立高校の講師などの仕事をしていましたが、今は退屈な日々を送っています。これと言った趣味がないからだと思います。昔はボウリングや麻雀に凝っていましたが、今は特にやりたいとは思いません。もともとお酒は嫌いですし、心臓を壊してからたばこをやめて十年になります。腕を大きく振つてウォーキングをするのも楽しくありません。おかげで昔はガラガラにやせていた体も立派なメタボになりました。

一方、私の妻はガーデニングを趣味にしています。家の狭い空いている敷地を使って、所狭しと草木を植え、ガーデニンググッズを置いて楽しんでいます。我が家のは、今や小さな森のようになっています。先日妻がちょっとしたことで四日間ほど入院しました。その間一度だけやむなく庭に水やりをしました。長いホースを引っ張つて家の一周の草花に水をやつたのですが、これが私にとっては大変な重労働でした。

た。妻は雨の降らない日は、これを毎日やつているのです。改めて私と妻の体力の差を感じてしまいました。

こんななまけものの生活にもそろそろ飽きました。これから少し活動的な生活を送らなければならないと思います。フランスへ行きたしと思わないうまでも、どこか近間への旅も良いかなとも思います。それとも少しお酒を楽しむ練習をして、おもしろおかしく生活をしてみたいな、とも思つていいます。それよりもこれから晩年に向かつての何年間か、もつと大きなことをやろうかという野望もないわけではありません。でもこのためには、先立つものが必要かもしれません。

北高を去つて二十四年、皆さんを送り出してから二十七年になると思します。今、私はこんなことを考えて生活しています。皆さんには良い趣味を持ち続けて欲しいものです。

終わり

2組



北高同窓会に寄せて

三上 隆一

3組



「旭北高への想い」

土本 信一

早いもので、北高を定年退職してから十二年が経ちました。年月の経過とともに北高での思い出も遠のいてゆく気がしていましたが、思いがけず、今年の北高同窓会の当番幹事（三十三回生）の方から原稿の依頼があり、薄らいでゆく記憶をもう一度たどつてみました。私が北高に赴任したのは昭和五十五年の四月で、丁度、普通科二十四学級の完成年（普通科一年八学級、英語科二学級）にあたり、在校生も千人を超えて、昭和四十年代前半のベビー・ブーム時代に次ぐ生徒数の多い時代でした。当時の北高は、新校舎が完成したとはいえ、古くて手狭な体育館など施設設備は、大変整備されてきました。そして真面目に学校生活に取り組む生徒が多いのも昔と変わりがないようです。が、生徒のエネルギーや仲間意識、連帯感等は少々希薄になつてゐるのが気になります。

現在の北高は、第二体育館など施設設備は、大変整備されてきました。そして真面目に学校生活に取り組む生徒が多いのも昔と変わりがないようです。が、生徒のエネルギーや仲間意識、連帯感等は少々希薄になつてゐるのが気になります。

年に一度の北高同窓会の集まりの中で、昔の高校時代を振り返り、旧交を温める中で、北高の未来像など話題になればと期待しております。

私は着任した四十七年頃には、そうした混乱も収まり、新設の英語科が完成年度をむかえ、全日制は普六・英二の八間口で、学校は安定し充実した雰囲気を醸し出していました。当時はまだ木造校舎で、昭和十五年旭川市立中学校として出発して以来であるから既に三十年を経過していました。「ボロ校舎のバラード」を北高祭テーマとしたのもこの頃で、すきま風が吹き抜け廊下はきみ時に鳴が飛びかうといった校舎でしたが、厳冬期に石炭ストーブを囲みスルメのように表と裏を交互に炙りながら談笑する様は趣があつて、私は旧校舎の雰囲気が好きだつた。

昭和四十九年から始まつた校舎改築は工事期間二年のはずがオイルショックの影響で遅れに遅れ漸く四年後に完成した。「新校舎、思ひこがれて裏切られ」：この間に入学し卒業していった生徒の無念のメモリジである。本会の当番幹事三十三期生は五十五年入学で、出来で間もない校舎で快適な学園生活を送つたことと思う。六十一年転勤するまで十四年間、「発展期・充実期」の北高に在籍できることを喜んでいた。都会的で才智才覚溢れる者多く、私自身生徒から学び勉強した充実期であった。

北高を去つて二十年以上になるが、今も文武両面で頑張り結果を残している旭北高の名を見聞きすることは嬉しい。特に平成十六年夏は暑く燃えた。四十四年ぶり二度目の甲子園で初勝利を目指し健闘したもののが、初戦惜敗した。南代表の駒大吉高が快進撃して北海道の大優勝旗をもたらした熱氣に隠れてしまつたが北高の善戦も立派であった。練習環境が厳しい最北の代表であり、野球留学や特待生とは無縁の公立進学校が甲子園に出ること自体至難の時代「あるいは」と思われる見事な闘いであつた。

七回まで前年ベスト八の岩国高に五対〇と抑え込まれ敗色漂う八回、四安打を集中して三点を返し、なお二死満塁、一打同点、長打なら逆転という状況；誰が冷静でいらっしゃようか。私も三星側アルプス席の一角で大声援に和して熱狂し応援した。旭北高生の意地と最後まで諦めない粘りを讃えたい。旭北高も多くの有為の人材を輩出し続け間もなく七十年、更なる発展を願つて止まない。

本当に良かつた。」といつた前向きな校に来るのが楽しく、北高生になれて本当に良かつた。



4組



雑感

佐藤正志



同窓会の案内をいただき忘れかけていた北高への思い。三十三期、三年四組のクラスの顔が、おぼろげながらなんだんと脳裏にうかんできました。私は平成九年、二十一年間勤務した北高を退職し、十三年目になりました。

年月の過ぎる早さを実感しております。北高をはなれてから何年かは柔軟性がない切りかえが遅い人間のせいか、頭では理解しながらも行くに行けないジレンマにおちいり悩みました。これもみな、恵まれた環境と、なにごとにも節度を持つて前向きに取り組む生徒のおかげであつたと感謝しております。

アーチエリー部の卒業生も時どき顔をみせにきてくれて当時の部員が社会にてて頑張っている様子を知ることができ安心したりしておりました。なにもすることのなくなつた自分をまぎらわすために、パソコン講習を受けたり、夏はパークゴルフ、冬はスキーとどうにか空白を埋めてきました。どうにか、現実の生活にも慣れて、この頃は町内会の役員として、足をひきずりながら忙しいながらもとび回つており

ます。また歳相応にして、町内高齢者クラブに参加し世話役をしたりし、どうにか充実した毎日を送っております。

まとまりのない感想と近況になりますが、如何ともし難いものがありますが、これらの余生を全うしようと思います。

一、応援団として北高のますますの発展と同窓生の皆様がたのご健康とご活躍を祈念いたします。

北高に在職していたのは昭和五十四年から平成五年の十四年間、長い間お世話になりました。その後、東栄高校で十三年勤めて平成十八年に定年退職しました。年金の問題で再任用を希望しましたが、美術教師の道はなく、なんと美深高等養護学校へ行くことにつたのです。その美深で二年、最後の一周年は鷹栖養護学校で勤務しました。未経験の養護学校勤務は教員生活の一からのやり直しで『目からうろこ』の世界でした。体力も必要で最初のうちは、若い女性の先生が指導する体力作りの時間で、息切れしてしまい付いていけない有様でした。そんな時間が毎朝のようにあつたので、運動不足気味の高齢者に取つて体力を維持する貴重な時間になつたのでした。それから助かつたのは給食があつたことです。養護学校の生徒たちからはたくさんのこと教えられましたし、充実した毎日を送ることができました。この経験が先で普通高校勤務だつたら、ずいぶん違つた生徒への接し方になつてい

たと思いました。

両校とも顔見知りの北高の卒業生が勤務していて、立派な先生になつて活躍している姿を見て感慨深いものがありました。

卒業生といえば、私が還暦を迎えた時、二年生のとき担任したクラスが中心に仲間を集めてお祝いしてもらつたことがありました。あのクラスはまた特別でした。修学旅行のとき、京都、奈良観光のバスガイドさんを最後にとうとう泣かしてしまつたのです。いじめ泣かしてしまつたのではありません。バスの中はテレビドラマのような盛り上がりで、寝不足の生徒たちも居眠りする雰囲気ではありませんでした。別れ際にガイドさんは感激のあまり泣き出してしまつたのでした。

十四年間の北高勤務、生徒たちの北高校生気質も時代と共に変わって行つた氣もしましたが、本質は全く変わつていなかつたような気もしました。現在はどうなのでしょうね。北高生の益々の活躍を期待したいと思います。

6組



定年退職後

宮崎和夫

北高に在職していたのは昭和五十四年から平成五年の十四年間、長い間お世話になりました。その後、東栄高校で十三年勤めて平成十八年に定年退職しました。年金の問題で再任用を希望しましたが、美術教師の道はなく、なんと美深高等養護学校へ行くことにつたのです。その美深で二年、最後の一周年は鷹栖養護学校で勤務しました。未経験の養護学校勤務は教員生活の一からのやり直しで『目からうろこ』の世界でした。体力も必要で最初のうちは、若い女性の先生が指導する体力作りの時間で、息切れしてしまい付いていけない有様でした。そんな時間が毎朝のようにあつたので、運動不足気味の高齢者に取つて体力を維持する貴重な時間になつたのでした。それから助かつたのは給食があつたことです。養護学校の生徒たちからはたくさんのこと教えられましたし、充実した毎日を送ることができました。この経験が先で普通高校勤務だつたら、ずいぶん違つた生徒への接し方になつてい

たと思いました。

両校とも顔見知りの北高の卒業生が勤務していて、立派な先生になつて活躍している姿を見て感慨深いものがありました。

卒業生といえば、私が還暦を迎えた時、二年生のとき担任したクラスが中心に仲間を集めてお祝いしてもらつたことがありました。あのクラスはまた特別でした。修学旅行のとき、京都、奈良観光のバスガイドさんを最後にとうとう泣かしてしまつたのです。いじめ泣かしてしまつたのではありません。バスの中はテレビドラマのような盛り上がりで、寝不足の生徒たちも居眠りする雰囲気ではありませんでした。別れ際にガイドさんは感激のあまり泣き出してしまつたのでした。

十四年間の北高勤務、生徒たちの北高校生気質も時代と共に変わって行つた氣もましたが、本質は全く変わつていなかつたような気もしました。現在はどうなのでしょうね。北高生の益々の活躍を期待したいと思います。

7組



ハマ暮らし、あれこれ

武井克彦

今年の同窓会当番は昭和五十八年卒の皆さんのこと、もう二昔前のことになりますね。社会の中堅です。小生ただ今、年に二、三回交替の横浜詰め、娘の家の家事に従事しております。手元にアルバムがなく、想い出が霞んでいます。「近況」をとのことですので、それに甘えて記します。

一九九三年に北高を定年卒業し、十七年目です。状況に流されて過ごしております。ここ横浜は開港百五十周年で行事が種々行なわれ、中でも黒船に乗りたいとわくわくしておるところであります。また、日本庭球発祥の地が海に近い丘の上の山手公園にあり、碑が建てられ、テニス博物館もあり、テニスの変遷がよくわかります。

住んでいるところは、横浜駅から地下鉄で二十分、港北ニュータウン地区で、都心へも數十分、美術館やスポーツ（ラグビー、テニス）観戦に出かけております。ここは当初からの開発計画がしつかりしており、丘陵地帯のせいもあつて緑が多く、小鳥は勿論、山鳩・トカゲ・ガマガエルなどをよく見かけ、富士山も丹沢山塊の上に顔だけ覗かせてています。



レベルの高い横浜でテニスをと思つたのですが、驚くほど高いのは費用で諦めました。ここ数年で体重が十キロ以上減り、筋肉がすっかりなくなりました。スポーツクラブでの体力測定では二十五歳と出て、驚きましたが脚力と心肺機能を中心と考えると納得できないわけではありません。妻には「食べるのに肥らない」とフェアではないことのよう言われます。できるだけ「楽をしない」ようにしております。自分をダメにする樂をしないように。今、心惹かれているのはヨガです。

先日、五歳の孫娘に「どうだ」と聞きますと「ムツキムキーじいじ」と言われました。幼い目にはまだそう見えます。怠け者のせいか時間に追われ、金（支払い）に追われております。良い日とともににお過ごし下さい。

第四十四回旭川北高同窓会をお祝いし、心からお喜び申し上げます。
私は伝統ある文武両道に秀でた旭川北高に昭和五十五年四月に赴任して以来、十二年間お世話になりました。その間、英語科の担任として、四度卒業生を送り出しました。当時、北高は各学年十クラス（普通科八クラス、英語科二クラス）の大規模校でした。
英語科のカリキュラムでは、『ヒアリング・スピーキング』を重視し、生きた英語を身につける』を主眼に、外国人の英語科講師による英会話や英語指導助手（AET）とのチーム・ティーチングの授業などを通して「コミュニケーション能力・国際理解力」を養い、また、時代を先取りしたし授業では「言語運用能力」を高めるのに大きな役割を果たしてくれました。更に、交換留学生を積極的に受け入れ『国際交流』を深めることにより、本校からの留学希望者が増えたのは、この成果の一環と言えるのではないでしょうか。

しかし、今は、北高も少子化影響による学級減で各学年六クラス。英語科はもうないので寂しい限りです。これも「時代の流れ」と言うものなのかな?

でも、私にとっては、今も想う旭川の町は勿論、北高は『懐かしく忘れがたい学校』として、心に深く焼き付いています。

10組



過ぎし日を想う／明日への嘱望

成田匡功

さて、悪化する世界情勢と共に、少子・高齢化に伴う今の日本社会には、目まぐるしい変化が起きています。政治、経済や私たちの暮らし向きは一向に好転せず、むしろ何かしら閉塞感すら漂い、先行不透明な時代になつていいかと思います。教育界も、今その渦中にあり、非行の低年齢化、減少しつつある生徒数に反比例するかのように増え続ける不登校の生徒たちの問題や学級崩壊など、課題は山積しています。これら問題の打開策は簡単には見つかるものではありません。今はもう何でも学校に任せさせておけばいいと言う時代ではなくなりました。

『行政・家庭・地域社会と学校との連携』が今まで以上に重要な役割を果たしていることは事実です。今、それぞれが、子どもたちのために何をしなければならないのかを真剣に考えなければならない時だと思います。これから学校教育には、様々な人間関係を体験することにより、『豊かな人間性や社会性・思いやりのある心』を育していく役割が強く期待されていると思います。

最後になりましたが、旭川北高同窓会が今後共、親睦・交流を深められ、人生の活力を共有されて益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げま

「市営球場からスタルヒン球場へ」

ポールにかかる大きな校旗、応援団の凜々しい声、響く太鼓の音、そして沸き立つ歓声…。先輩達が学校の窓や堀の隙間からのぞき見て青春の1ページを綴った市営球場が幕を閉じ、我々33期が在学中にスタルヒン球場へと装いを変えた。

北高の立地条件から、いつも私達北高生の身近にあったこの野球場についてその思い出を語っていただきました。



スタルヒン球場の今

我が「聖地」市営球場



第二十七期
近藤光俊

私が、旭川北高に入学した昭和四十九年から三年間。昭和八年に完成した旭川市営球場は、昭和五十九年に現在のスタルヒン球場が完成するまで、我々高校球児の「聖地」でした。甲子園は遙か彼方にある夢の舞台であり、目標とすべきは、全道大会の舞台である札幌中島球場でした。

当時、旧校舎であり、隣接の陸上競技場などの施設も改修前の状態で、市営球場は「近文運動公園」の中心施設でした。(北高G横には競馬場もありました。)二年の春季大会で「聖地」初登板(一応投手)し、以後三年の夏まで十数試合行いましたが、思い出されるのが観客の声。観客席とグラウンドが近いせいかとてもよく聞こえました。激励の声がほと

んどで、見知らぬ人の声もあり、大変勇気づけられたものでした。また、優秀な仲間にも恵まれ、北大会出場1回、秋季全道大会出場一回という成績も「聖地」で成し遂げることが出来ました。

番外編

三年生の二学期。唯一男子クラスであった我が六組の昼休みの遊び場が、「聖地」市営球場。一部バラ線が切れていて簡単に入ることができ、ソフトボールに熱中しました。

五年前に、素晴らしい後輩達が、四年ぶり二度目の甲子園出場の快挙を成し遂げました。その間、支部予選一回戦敗退あり、北大会決勝戦での惜敗ありと、それらの積み重ねの集大成だったと思ひます。甲子園を目指して夢叶わなかつた我々OBにとって最高のプレゼントでした。

現在、初のOB監督体制となり、文字通り「伝統校」への道を着実に進んでおり、陰ながら応援していきたいと思つて

特集①

旭川市営球場への想い



北高三十二期

本田 晴樹

旭川市営球場は昭和五十五年をもつて取り壊され、今のスタルヒン球場が造られました。二十九年も前のことになります。写真の一枚は私が高校二年生で、その年の夏の地区予選大会開会式の入場行進をしているものです。もう一枚は秋季大会の準々決勝で留萌高校と対戦したときのものです。写真の様子から見てもわかりますが、隣の外からでも背伸びすれば球場内の試合を見ることができました。おそらく北高の職員室からでもかつての市営球場内での試合は見ることができたのではないかと思います。球場のフレンスはコンクリートでできいて、腰の高さくらいまでしかありません。ライナー性のかなり危険な打球が客席に飛び込むこともあつたと思います。

市営球場に設置されていたバックネットの支柱とスコアーボードは今現在、旭川実業高校の野球グランドで使われています。かつてのスコアーボードは延長十五回までありましたが、劣化が進んで今では九回までになっています。スタルヒン球場では本部席横のスコアーボード記録席から遠隔操作で得点を入れます。市営球場のスコアーボードは人の手作業で得点板に点数を取り付けています。高

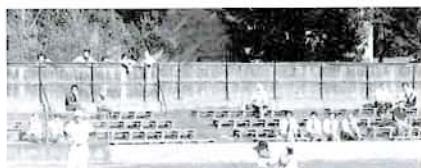
校二年生のとき大会のスコアーボード係りをしたことがあります。得点板の扉をほんの少し開いて、試合の様子をその隙間に覗き見たりしました。得点板係りの仕事を専念をしなければならないのですが試合中にもかかわらず他校同級生のセンターを守る選手に頑張れよと声をかけたこともあります。懐かしい思い出です。

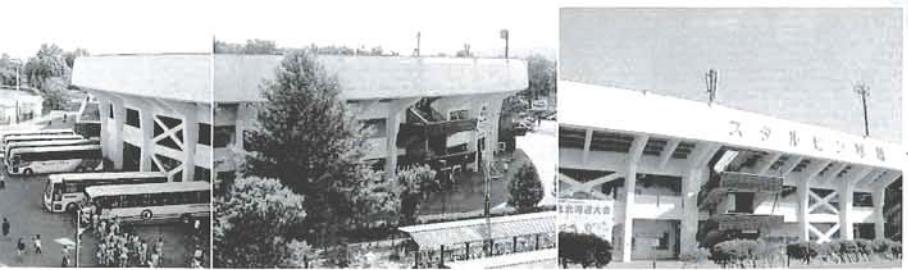
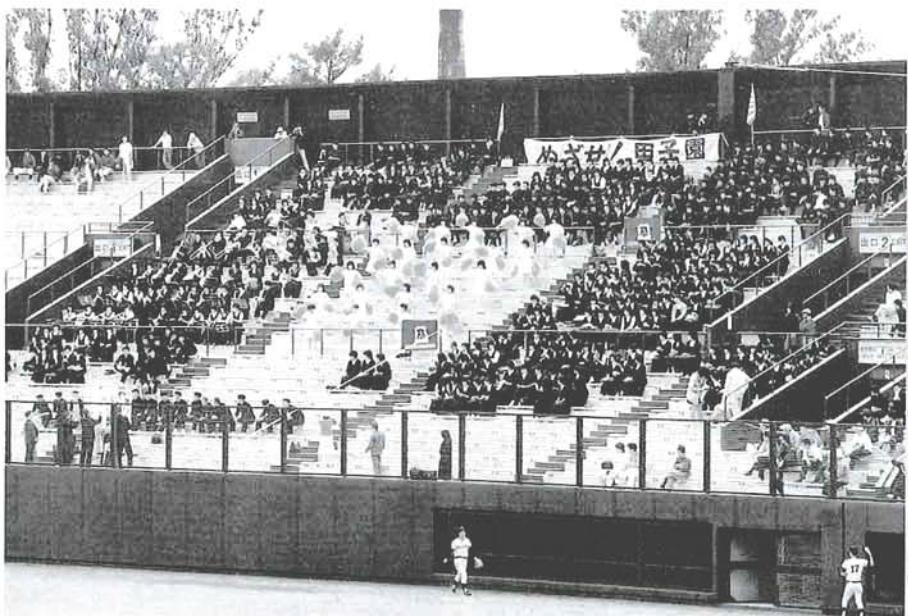
高校時代に華やかなスタルヒン球場でプレーをしたかったという思いもありますが、旭川市営球場最後の年の秋季大会で野球ができたことは自分にとって味わいのある思い出になっています。そして高校児であった当時の自分を育てていただいた旭川市営球場に心から深く感謝しています。

第62回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会旭川地区予選大会



市営球場

【写真1枚目】第62回全国高校野球選手権大会
北北海道大会旭川地区予選大会【写真2枚目】【旭川-旭北】七回裏、旭北二死三塁、
旭北本田投手（左）の墨投で、
三走齊藤ホームイン、6点目をあげる



スタルヒン球場の

特集①

夏の大会の思い出



北高四十一期
中 港 誠 幸

私は、平成二年度卒業の中港誠幸と申します。スタルヒン球場の思い出と申ことですので、野球部OBとして当時の一試合について書かせていただきます。

平成元年夏の大会。対龍谷戦です。北高には素晴らしい投手で一年先輩の鈴木さんがおりました。しかし春先から肩をこわしてボールが投げられなくなり私は二年生投手として先発マウンドに立ちました。当然のことながら負ければ三年生の野球は終わります。その年の龍谷高校は甲子園有力校でした。体格は熊のよう大きくなり全員がホームランバッターでした。試合はシーソーゲーム。四対四同点で八回ウラ。龍谷の攻撃は代打。キャッチャーハイの秋山さんは内角ストレートのサインでした。緩急をつけた遅いストレートを内角に投げました。ボールはスタルヒン球場レフトスタンドに。このホームラン

が試合の負けを決めました。あの数分間は鮮明に覚えています。逆にあの試合では他の場面を覚えていません。いま当時の新聞を読みながら筆を進めています。

グラントに崩れる先輩達の姿を見て申し訳ない思いでいっぱいでした。きっと秋山さんは早いストレートを要求していましたのだろう。とか。代打だったので気をゆるめたのかも。と後悔の念でいっぱいです。試合後、先輩達は泣きながら「おまえには来年がある」と励ましてくれました。が私にとつてはあの一球が高校時代の一番の思い出です。その夜、誰もいないスタルヒン球場レフトスタンドに寝転んで星空を見たことも思い出です。なんだか同窓会誌にふさわしくない暗い文章ですみませんでした。昨年スタルヒン球場で投げる機会がありました。十一年ぶりでした。当時のことよりみがえり、あの球場はたくさん思い出がつまつた場所です。



スタルヒン球場とともに



北高五十五期

木 全 克 仁

ありました。小学校から約十三年間、携わることができ、幸せに思います。これからも、なんらかの形で関わっていけると思います。

最後になりますが、旭川北高校の益々のご発展をお祈りいたします。

私は、硬式野球部に所属し、主将を務め、平成十七年度全国高校野球選手権大会に出場することができました。色々な会で試合をすることができました。色々な方たちの支えがあつたからこそ、憧れの甲子園球場で試合をすることができました。同窓会の方々を始め、卒業生の方々や、関係者の方々には、多大な協力、そして応援をしていただき、感謝しております。

スタルヒン球場は、旭川北高校の隣だったので、トーナメントを早く負けてしまうと他のチームの歓声を聞きながら学校生活を送り、悔しい思いをしました。また、北高の試合になると大きな声援を送つてもらいました。球場に向かう前には、国道に向かって校歌を歌い、気持ちを高ぶらせ、そのまま球場へ入り、試合に臨みました。今でも学校の前を通ると思い出します。

スタルヒン球場でプレーを重ねることが、自分自身の自信となり、その中でかけがえのない仲間を得ました。スタルヒン球場が自分を育て、多くの出会いを与えてくれました。一瞬一瞬が今でも鮮明に残っています。全てが私の宝であり、原動力であり、あの時間があつたから今の自分があります。



スタルヒン球場



特集
②

卒業生の

北高を 振り返つて キュッパ!!

卒業生の方に、北高生活の思い出と同窓会について語つて頂きました。

しつめども北高生

北高二十五期
(英語科三回生)

木村公俊

仕事で時々北高校
を訪問します。当時

の校舎はもうあります
せんが、校内は当時

と同じ校風が流れて
いることに気づきます。

これが伝統校の
重みだと思います。

また敷地の位置も制
服も当時のままで、
卒業生として大変嬉

しく感じます。

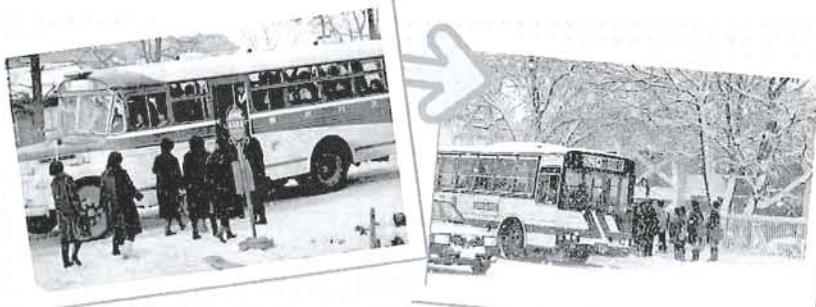
映像による母校の
思い出を掲載します。

写真で見ますと、懐

かしさと共に改めて
北高の歴史の重みを

今でも鮮明に記憶して
います。

あまり自由に振舞えない私立高校を
四ヶ月で自主退学し、再チャレンジで
やつと迎えた初登校の日、生徒玄関で
靴を履き替えていると、次々と先輩た
ちに歓迎の言葉をかけられました。そ
の温かくて自由な校風を肌で感じられ、
心底から感動しました。ここで「三年
間頑張るゾ」と改めて決意しました。
このことは、卒業後三十年以上経つた



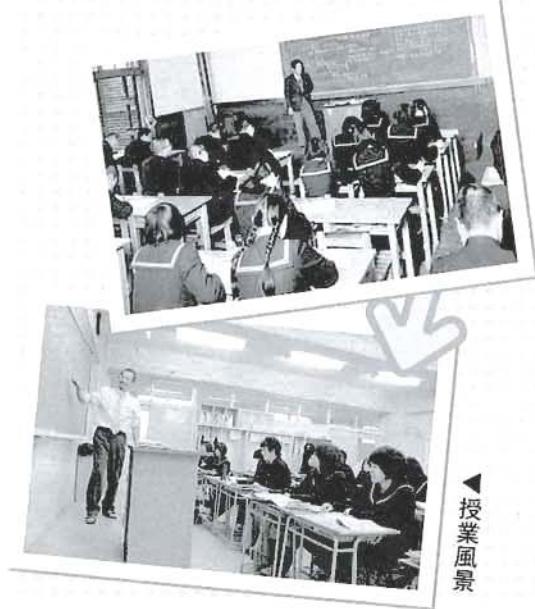
▲バス停



▲図書室



▲廊下



▲授業風景



私が初めて担当した十一号の特集を参考に掲載します。北高にほど隣接する、みずほ通り商店街の歴史を簡単にまとめた記事です。

北高卒業生が四十五歳になつた頃、必ず迎える同窓会当番幹事。私たち二十五期も、同期会のノリで無事役目を終えました。楽しかったこと、大変だ

ります。

北高同窓会文化部

ノースウインドという同窓会新聞をご存知ですか。正直自分も、文化部の仕事を手伝うまで詳しくは知りませんでした。

全国の卒業生へ同窓会活動情報を発信する紙面がノースウインドです。文化部はその発信に関する全作業を担当しています。毎年三月発行しています。最新号は第十六号です。

十六年間の歴史がありますが、年間発行回数が年1回と少ないのが編集員の悩みであり、腕の見せ所でもあります。

北高卒業生が四十五歳になつた頃、必ず迎える同窓会当番幹事。私たち二十五期も、同期会のノリで無事役目を終えました。楽しかったこと、大変だ

ります。

北高卒業生が四十五歳になつた頃、必ず迎える同窓会当番幹事。私たち二十五期も、同期会のノリで無事役目を終えました。楽しかったこと、大変だ

つたこと、今となつては良い思い出です。一週間が一日の様に短く感じる充実した一年でした。また、「これでヤツトコサ北高を卒業出来た」と妙な感概に浸つたのを覚えています。

このような絶妙な年齢の時に、同窓会の当番幹事を迎えるという仕組みを考え、実行してくださった先輩方へ改めて感謝いたします。在学中はあまり接点のなかつた、普通科の同期生達と



みずほ通り今、昔

『みずほ通り』はどこですか? と聞かれて即座に答える人は数少ないと思います。私自身、30歳をこえるまで正確には把握してませんでした。

護国神社から旭橋までの国道40号線沿いの通りを『みずほ通り』と呼びます。

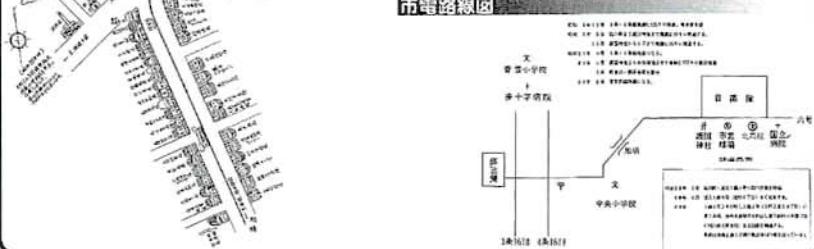
昔から商店が集約された地域です。昭和40年代「私の在学中」ラーメン千家では週に何回いったでしょうか。北星バチコ店へ友達とこっそり行ったのも楽しい思い出です。もう時効? 現在は約80店舗でみずほ通り商店街振興組合を組織して、人に優しい街・安全な街を目指し、さまざまな活動を行っています。

母校を訪れる機会のある方は、『みずほ通り』へお足を延ばしてください。大変個性的な街と出会うと思います。なるべく自分の足で歩いてみることをお勧めします。

みずほ通り商店街
振興組合青年部部長
北高25期
木村公俊

映画館リスト									
名前	座席	料金	名前	座席	料金	名前	座席	料金	名前
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高
北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高	3の7	3の7	北高

市電路線図



三十三期の皆様ご苦労様です、そして大変すばらしい経験をされたと思われます。是非その経験を後輩期へ引き継いでください。



特集
②

卒業生の近況



旭川で活躍されている、北高卒業生の近況を伺ってみました。



■学生時代

北高在学中は、柔道部に所属。

当然！坊主頭で、女の子には無縁？の3年間。

写真は修学旅行でのひとコマ。野球部と柔道部の2人が
坊主頭です。

◆PROFILE◆



北高33期
こじま ひろかつ
児島 広勝

昭和39年／当麻町生まれ
昭和58年／北高卒
旭川市消防本部消防吏員拝命
昭和60～63年／全国救助訓練技術指導会出場
平成10年／救急救命士
平成16年／気管挿管認定
平成18年／薬剤投与認定
平成1～18年／日本海オロロンライントライ
アスロン出場
平成9年／北海道スキーマラソン優勝
平成14年～／北海道トライアスロン連合理事
上川地区トライアスロン連合理事
平成19年～／大雪山忠別湖トライアスロンin
ひがしかわ実行委員

■救助隊員時代

卒業後の昭和58年、旭川市消防本部消防吏員拝命。

昭和60～63年まで、消防士達の甲子園！TBSの「SASUKE」でもおなじみ、全国消防救助技術訓練指導会に北海道代表として出場。並み居る本州勢を尻目に、上位入賞の常連となる。まさに青春真っ只中！



■救急隊員時代

平成10年救急救命士合格、平成16年気管挿管認定、平成18年薬剤投与認定等、主に救急業務を担当。左は北海道では3人目、札幌以外では初となる気管挿管認定後の記事。右は昨年、市内で初めてとなる、AEDによる救命事例をプライベートで体験したときの記事。

一命を取り留めた65歳の男性は、完全社会復帰を果たし、元気に暮らしています。

■趣味！？

30代以降は、趣味のトライアスロンとXCスキーに没頭？国内最長（総距離240km超）の大会であった、日本海オロロンライントライアスロン国際大会に16回出場し15回完走。冬場のトレーニングで始めたXCスキーでは、平成9年の第1回北海道スキーマラソン優勝。平成14年からは、HTU（北海道トライアスロン連合）理事。現在は、明日！開催される「大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ」の実行委員として奔走する日々。



せつかくの機会なので、十五年前に北高同窓会の「会誌」をイメージエンジンした時の話をしたいと思います。

会誌の体裁は第四十四回の今年もA4版だと思いますが、実は長年続いたB5版だと思いませんが、実は長年続いたのは第二十九回から現在のA4版に変わったのは第二十九回からです。この時は私たち北高十



北高十八期
村上史生

会誌の思い出

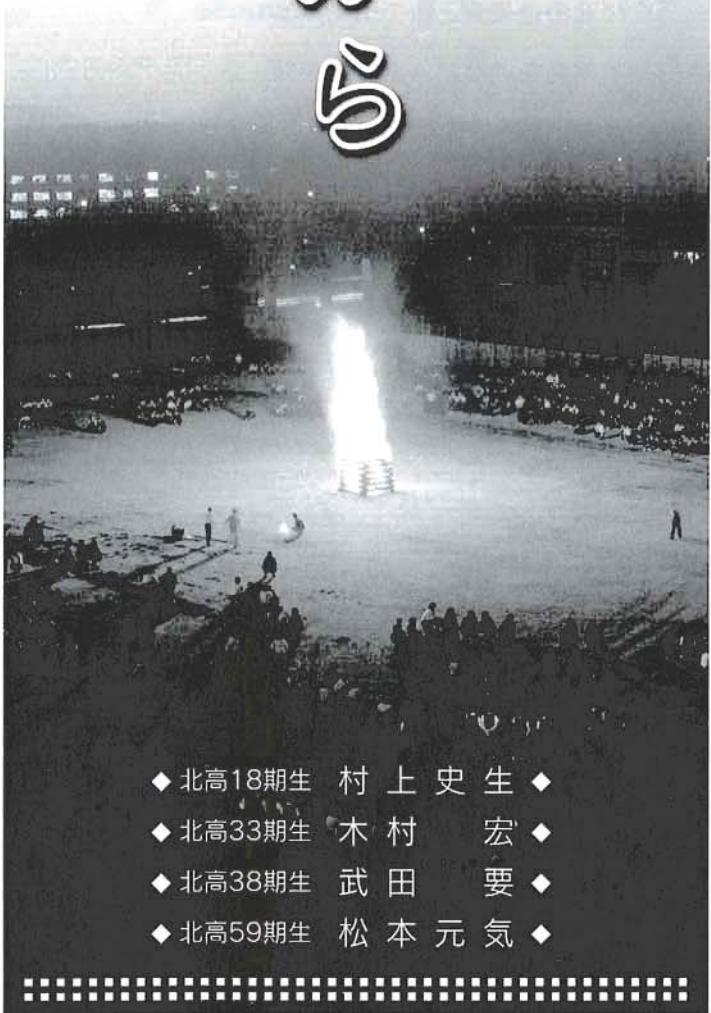
八期が当番期でしたが、編集メンバーは先輩から引き継いだページ数の少ない会誌を手にしながら「会場に置いて帰るには忍びないものを作ろう」と考えました。

そこでまず紙の大きさを変えました。広告出稿者に少しでも大きなスペースを提供したいという狙いもあり、これによって従来より一回り大きな枠にすること

ティな誌面構成とし、同窓会の席で酒のつまみに気軽に読んでもらえるようにしました。特に旭川市内外に散在していた恩師をメンバーが直接取材し近況を記事にしたのは、とても手の込んだ作業でしたが、訪問を受けた恩師も懐かしく迎えてくださいり、編集メンバーにとつても至福の時間でした。

広告ページの扉には「時は過ぎてもいつも心にあたたかい想い出がよみがえる」というフレーズを使いましたが、それはその年の同窓会のポスターに登場した言葉でした。以来今日まで毎回使い回され、私たちの「仕事」が残っている

同窓生から



◆ 北高18期生
◆ 北高33期生
◆ 北高38期生
◆ 北高59期生
村上史生
木武田宏元
木日本

理系研究者の独り言



北高三十三期
木村宏

北高を卒業して、はや四半世紀が経ち、その間ほとんど高校生活のことを振り返ることもなく暮らしてきた自分が、まさか同窓会誌に一文書こうとは、思いもよりました。特に旭川市内外に散在していた恩師をメンバーが直接取材し近況を記事にしたのは、とても手の込んだ作業でしたが、訪問を受けた恩師も懐かしく迎えてくださいり、編集メンバーにとつても至福の時間でした。

広告ページの扉には「時は過ぎてもいつも心にあたたかい想い出がよみがえる」というフレーズを使いましたが、それはその年の同窓会のポスターに登場した言葉でした。以来今日まで毎回使い回され、私たちの「仕事」が残っている

ことはうれしい限りです。

あの時、私たちが目いっぱい努力したため、後輩たちにはいま相当の苦労をかけているのではないかと申し訳なく思う気持ちもありますが、道内高校の同窓会誌では最高のレベルにあるものと自信を持ち、今後もさらに磨きのかかった会誌づくりに期待したいと思っています。

大学院に在籍している間、高校の非常勤講師として教える機会があり、実習で得られた経験や教員免許も無駄にはなりませんでした。大学院を中退後、札幌、英國、東京、京都、大阪と各地を転々としていますが、現在も何とか研究生活を続けることができています。

研究内容は大雑把にいうと「細胞生物学」という分野ですが、遺伝子であるDNAがどのように細胞内に収納されて必要な情報を必要なときに発現させるのか

ということを明らかにすべく仕事をしています。例えば、最近下村さんがノーベル賞を貰つて有名になつた蛍光を発する蛋白質を使つたりしながら、細胞の中での蛋白質やDNAが動く様子を観察しています。ところで、日本人のノーベル賞受賞が話題になるたびに、理科教育や基礎研究の重要性が話題になるのですが、現場にはなかなか反映されてこないのは、いかがなものでしようか。

さて、自分の長女が今年高校受験で、将来のことを考え始めています。でも、私も中学や高校、大学の頃は、将来についてあまり何も考えていませんでした。

一応、それなりに勉強もして成績も悪くなかったとは思いますが、特に高い志があつたわけではありません。ただ、朝早く起きなくてすみ、人に頭を下げなくてすむような仕事に就ければ良いなとは思つていましたが。やりたいことなんて、そのうちに何かしらでてくるでしょ、今

はとにかく高校に入れるようにがんばりなさい、と理系らしからぬ脈略のない言葉で娘を励ましています。

あの頃過ごした時間が再び！



北高三十八期
武田 要

卒業アルバムを開くと、懐かしい仲間たちの顔とその時々の出来事が思い出されます。

地味な、だいぶ紺色の北高ジャージで野外炊事やキャンプファイヤーを楽しんだ宿泊研修。朝六時からの練習になかなかメンバーが集まらず、朝のホームルームぎりぎりに登校し、廊下に立たされた球技大会。前夜祭には全校フォーカダンスと打ち上げ花火で盛り上がった北高祭。

三年生の北高祭では、各学級が出店やテーマをもつた展示に取り組みました。男クラブの我が八組は『開基百年・旭川』をテーマに、結構みんな頑張っていたと記憶しています。体育祭では、担任の先生にセーラー服を着せて走らせる競技もありました。今見てもやはり怪しい？ 青函トンネル開通前の連絡船による修学旅行。薬師寺の坊さんの話は確かに楽しかつたです。



北高五十九期
松下元気

私が北高を卒業して

私が北高を卒業して四ヶ月が経とうとしています。北高で過ごした三年間はとても忙しかったですが、その分充実していました。

卒業してから早二十数年が経ち、気が付けば自分も四十歳となりました。北高で共に過ごした仲間たちは次第に会う機会も少なくなり、それぞれが各自の今の営みの中で、社会的な立場も家庭での責任も重くなっていることだと思います。

私たち北高三十八期が当番幹事を務めさせていただくのは、五年後です。久々にあの頃の仲間が集い、同期の絆を感じ確かめ合うことが、その後の私たちの大好きな「生きる力」となることを信じています。北高三十三期の諸先輩の姿を手本とし、準備を少しずつ進めていきたいと思います。

生徒会長をしていて一番印象に残つてるのは、やはり最後の学校祭です。たくさん失敗したこともあつたし、いろんな方に迷惑もかけました。けど、どんなに辛いことがあつても周りにはいつも仲間がいて、支えてくれる人がいました。

私はそこで見つけた大切な仲間です。

現在私は沖縄の琉球大学に通い楽しいキャンパスライフを送っています。気候や文化も全く違う北海道とはまったく反対の地で、なかなか旭川に帰れず、親友達とも会えず寂しくなるときもありますが、彼女を作つて帰るという親友との約束を果たすために日々精進していきたいたいと思います。

大切な仲間と出会わせてくれた北高にはとにかく高校に入れるようにがんばりなさい、と理系らしからぬ脈略のない言葉で娘を励ましています。

先生。授業の予習不足を自覚できるよう指名してくださった先生。前日少々たしなまれ程よい香りだつた先生。中にはもうお会いできない先生もおられます。記憶はあの時のままです。

卒業してから早二十数年が経ち、気が付けば自分も四十歳となりました。北高で共に過ごした仲間たちは次第に会う機会も少なくなり、それぞれが各自の今の営みの中で、社会的な立場も家庭での責任も重くなっていることだと思います。

音楽部では「音楽甲子園」という大会に出場し、決勝大会で東京まで行きました。

音楽甲子園では自分で作つた曲を演奏するのですが、自分で表現したもののが人に認められたことが、すごく嬉しかつたのを今でも覚えています。

山岳部では全道大会まで進み、惜しくも二位という結果で終わり、すごく悔しい思いをしたのを覚えています。

部活は音楽部、山岳部、新聞局、を掛け持ちし、二年生の後期からは生徒会長として、たくさんの活動をしてきました。

【私立大現役合格者数】

大学名	H17	H18	H19	H20
北星学園大	20	23	25	19
北海学園大	19	19	36	14
道文教大	2	2	8	5
札幌大	8	3	4	1
札幌学院大	13	6	4	
札幌国際大	2		1	
天使大	6	5	5	4
道医療大	5	11	8	11
道薬科大	7	6	5	1
駒女子大	4	2	2	1
駒農学園大	2	1	4	4
北翔大	1		1	
千歳科技大	2		1	
日赤看護大		1		
渉協大	3	1	3	4
青山学院大	3		1	2
学習院大	2		1	
中央大	1	8	2	3
津田塾大		2	1	2
東洋大	2	1	4	4
法政大	8	2		9
明治大	3	2		8
立教大		1	2	4
早稲田大		3		
同志社大	6	1	1	2
立命館大	4		3	2
その他	52	32	62	67
私立大合計	175	122	188	174

【公務員・民間就職合格者数】

種類	H17	H18	H19	H20
国家公務員	3	1	1	
道職員	2	1	3	
市町村職員		2	3	1
他の公務員		1	4	
民間就職	4	5	4	2
国公立大合計	97	108	123	125

平成20年度 卒業生の進路

進路別人数

区分	合 計			前年
	男	女	計	
卒業者数	114	124	238	235
進学希望者数	113	122	235	231
進学者数	100	111	211	197
進学先内訳	国公立 大	道 内	36	33
		道 外	33	16
	私立 大	道 内	9	22
		道 外	18	20
専門学校	国公立 大	道 内	0	1
		道 外	0	0
	私立 大	道 内	0	3
		道 外	0	0
就職	大学校等		1	0
	専門学校	道 内	2	7
		道 外	0	1
	その他	道 内	1	6
自営：家事手伝		道 外	0	2
			24	34
その他(進路先未定を含む)	13	11		

国公立大学現役合格者数及び1クラスあたりの合格者人数

	平成14年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学級数	8	7	7	6	6	6
合格者数	84	96	97	108	123	125
人/クラス	10.5	13.7	13.9	18.0	20.5	20.8

難関大、医学科、獣医学科合格者数(現役+過卒)

	平成14年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
北海道大学	8	17	12	23	14	27
旭医大(医)					1	
帯畜大(獣)					1	
東北大	1	1	2	1		2
筑波大	2		1	1	1	1
東京外大				2		1
東京工大						1
京都大					1	1
広島大					1	2
	11	18	15	29	17	35

進路指導部
(全曰制)

進路指導部
新沼克志

くさんいたということです。京都大・東北大・広島大・東京外大・筑波大にしっかりと現役合格しています。

私立大学でも変化がみられました。道外難関大や中堅の大大学に果敢に挑戦して合格しています。地域にとらわれず、しっかりと自分の道を進んでいく姿勢がみられます。

現役生の国公立大学の合格者数第一位は、これまで北海道教育大学でしたが、今年度は、北海道大学が第一位となりました。これは、北海道教育大の合格者数が単に減少したというのではなく、北海道大学の合格者数が二十人を超えたことによります。さらに素晴らしいのは、これだけ北海道大学の合格者数を伸ばしながら、より難関の大を目指して努力を続けていた卒業生がた

これらの変化は、今年度、急に起こったのではありません。右下の表のように、単位制導入の三年前から徐々にその傾向が現れていたのがわかります。国公立大学の合格者数は、七年前は一クラスあたり十一人だったのが、この二年間では二十一人へと倍増しています。クラスの半分以上が国公立大学へ現役合格できる高校になつたわけですね。また、さらにその下の表を見てわかると思いますが、単に国公立大学の合格者が増加したというのではなく、その增加分は、明らかに難関大等への合格者増へと結びついています。

09' 部活動報告

●野球部

私達野球部は、公立高校ではなかなかいい、きれいな芝やグラウンドなど最高の環境の中で野球をやらせてもらっています。

私は「明るく・素直に・元気よく・謙虚に」をもつとうに日々活動しています。

さらに今年からバッケネットに「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」・
FOR ALL ALL FOR ONE

葉は笠井先生が私達に大切にしてもらいたいことで、練習中や学校生活でも意識できることで、と作られました。

また野球だけでなく、勉強や日常生活にも意識を高く持ち、立派な人間になれるよう人間力を磨いています。

しかし、昨秋は旭川龍谷高校に悔しい敗戦をし、冬に厳しいトレーニングを積んできましたが、春季大会でも富良野高校に敗れ、結果を出すことができませんでした。これからは、自分達が大切にしてきたことに自信を持ち、のびのびと元気よくグランド内を全力疾走して、みている人が思わず応援してしまうような、魅力のあるチームになります。

●ソフトテニス部

ソフトテニス部の活動について、少し報告させていただきます。ここ十年ほどずっと続いているとおり、男子の入部者がなく、女子のみで活動しています。三年生が三名、二年生は八名、そして一年生が一名です。

先日行われました高体連地区大会では、三

年生の最後の大会ということもあり、みんな真剣な表情で参加しました。結果的には全道大会出場は果たせませんでしたが、三年生も力一杯プレーすることが出来たと思います。次回に向けての課題も見えてきましたので、これからも引き続きがんばりました。今後とも温かく見守って下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

高体連地区大会結果

旭川北 2対1 富良野緑峰
(予選リーグ)

旭川北 0対3 旭川商業
(予選リーグ)

旭川西 0対2 旭川西
(決勝トーナメント)

旭川西 0対2 旭川西
(決勝トーナメント)

●硬式テニス部

硬式テニス部は、男子十九名、女子十二名で活動しています。花咲のテニスコートがすぐ近くにあるという利点を生かし、日々練習に力をいれています。テニスという競技は、日々の姿がそのまま結果に表れるシビアなスポーツです。生徒達には、テニスにのめり込むことで、そのことを認識し、勝利に向かい努力することの面白さを体感してもらいたいと考え指導しています。現在は新体制となり、八月九月にある新人戦に向け、チーム内で競い合いながら力を蓄えているところです。さらなる飛躍を目指して、努力できる人間を育成していくたいと考えています。

△バレー祭
1回戦 旭川北 2対0 旭川東
2回戦 旭川北 0対2 旭川凌雲
3位決定戦 旭川北 2対1 旭川実業

△旭川支部春季大会
2回戦 旭川北 2対0 旭川工業
準決勝 旭川北 0対2 旭川凌雲
3位決定戦 旭川北 0対2 旭川東

△高体連旭川支部予選会
決勝リーグ戦 旭川北 2対0 旭川東
決勝トーナメント 旭川北 2対0 旭川明成
予選グループ戦 旭川北 0対2 旭川凌雲
旭川北 1対2 旭川凌雲
旭川北 2対0 旭川東

△高体連地区大会予選
男子 個人ダブルス
斎藤・宮川ペア 優勝
須子・正部川ペア 5位
個人シングルス
斎藤 8位

◎高体連全道大会

男子バレー部は、五月末の高体連支部大会を最後に三名の選手と一名のマネージャーが引退し、新チームは二年生四名、一年生六名の選手と四名のマネージャーであります。今年は二月に行われた春校バレーの北海道大会に出場することができました。しかし、高体連の支部大会は第三位ということで全道大会に出場することはできませんでしたが、最後は楽しくプレーすることができます。新チームも、先輩たち以上の結果を残せるよう頑張ります。

◎決勝トーナメント

旭川北 0対2 旭川大学高校
旭川北 2対0 旭川藤高校

◎ワッカーチーム

現在サッカーチームは、三年生が春の高体連を最後に引退し、二年生八人、一年生十八人、マネージャー四人で毎日元気に活動しています。新チームとなつたばかりで、足りないところばかりで、これからひとつでも上に行けるようなチームを目指して、一丸となつてがんばりたいと思っています。

現在は授業が七時間ある日が、火曜日と木曜日となり、土曜日には講習や模試なども入ってきて、なかなか満足な練習時間が確保できない状況にあります。ですから、日々意識していることは、少ない練習時間の中でもいかに集中力を高め、中身の濃い練習をするかと

いうことです。仲間が良い中には厳しく伝え、お互いがお

出場めざして、頑張っています。高体連の大会では三年生が最後の試合ということもあって全員が一つになり、もてる力をすべて出しきり納得のいくゲームができました。

◎高体連予選

旭川北 2対0 旭川藤高校

強豪チームが多い中で全道大会出場を果たすのは大変な事ですが、希望をもつて果敢に挑戦していくつもりです。

●男子バレーボール部

男子個人ダブルス
斎藤・宮川ペア ベスト8

男子バレー部は、五月末の高体連支部大会を最後に三名の選手と一名のマネージャーであります。今年は二月に行われた春校バレーの北海道大会に出場することができました。しかし、高体連の支部大会は第三位ということで全道大会に出場することはできませんでしたが、最後は楽しくプレーすることができます。新チームも、先輩たち以上の結果を残せるよう頑張ります。

●決勝トーナメント

旭川北 0対2 旭川大学高校
旭川北 2対0 旭川藤高校

●ワッカーチーム

現在サッカーチームは、三年生が春の高体連を最後に引退し、二年生八人、一年生十八人、マネージャー四人で毎日元気に活動しています。新チームとなつたばかりで、足りないところばかりで、これからひとつでも上に行けるようなチームを目指して、一丸となつてがんばりたいと思っています。

現在は授業が七時間ある日が、火曜日と木曜日となり、土曜日には講習や模試なども入ってきて、なかなか満足な練習時間が確保できない状況にあります。ですから、日々意識していることは、少ない練習時間の中でもいかに集中力を高め、中身の濃い練習をするかと

いうことです。仲間が良い中には厳しく伝え、お互いがお



互いを高めて行けるような雰囲気作りに努めることが大切です。目標を高く持つて、全員が一生懸命に走り、声を出し、北高サッカー部の伝統を大事にしながら、全道大会への出場を目指して、今後も励んでいきたいと思います。なお、最近の大会などの結果につきましては、北高のHPに掲載し、そのつど更新しています。

●卓球部

高体連旭川支部大会の結果は、学校対抗男子三位、女子は予選リーグ敗退で、全道大会出場はなりませんでした。しかし、男女とも有力な一・二年生が多数いますので、水野部長を中心に力をつけていけば、秋の選抜大会、来年の高体連では期待できます。

●バドミントン部

バドミントン部は男子十七名、女子十一名の計二十八名で活動しています。男女共に仲が良く、みんなで声を出し、毎日明るく練習に取り組んでいます。

今年は、仲間や先生、たくさんの人々の応援と支えのおかげで、男女共に全道大会に出場することができました。今後も先輩方の残してくれた輝かしい成績を刺激に、インターハイ出場を目標に、みんなで切磋琢磨して日々努力していくと思います。

【おもな大会結果】

高体連支部大会および各種全道大会

◇北海道高等学校新人大会
平成21年1月15日～17日 岩見沢市

男子団体 北北海道 1回戦敗退

女子団体 北北海道 2回戦敗退 ベスト8

女子複 岩見沢・富田 1回戦敗退

◇国民体育大会北海道予選会

平成21年5月8日～10日	室蘭市
少年女子複 川岸・富田	2回戦敗退
◇高体連旭川支部大会	
平成21年5月26日～28日	旭川市
男子団体	第3位
女子団体	第3位
男子複 松平・宮田	ベスト8
女子複 坂本・伊藤	2回戦敗退
男子単 松平	3回戦敗退
女子単 川岸	2回戦敗退
男子団体	3回戦敗退
女子団体	3回戦敗退
男子個人 結城	3回戦敗退
女子個人 武田	2回戦敗退
◇第61北海道高等学校選手権大会	
平成21年6月16日～19日	旭川市
男子団体 北北海道	1回戦敗退
女子団体 北北海道	1回戦敗退

今後は一・二年生を中心に、この悔しさを忘れず、「臥薪嘗胆」の気構えで日々努力していきたいと思います。自ら稽古内容を吟味し、行動に移すことが、剣道部員に望まれる一番の課題です。引き続きご支援・ご声援のほど、よろしくお願いします。

◇高体連旭川支部大会

男子団体	第3位
女子団体	第5位
男子個人 結城	第6位
女子個人 武田	第3位
◇高体連全道大会（北見市）	
男子個人 結城	2回戦敗退
女子個人 武田	2回戦敗退
◇陸上競技部	
本校陸上競技部は、今年十八名の新入部員を迎える、管内でも二番目の規模となる、総勢三十八名の大所帯となりました。実施種目も多岐にわたり、近年では棒高跳やハシマ投げの選手も在籍しています。中でも、男女の競歩は伝統的に強く、今年も昨年引き続いているインターハイ出場を果たしています。今後は更に練習を重ね、全ての種目において北海道のトップを目指して頑張って行きたいと思っています。	

●女子バスケットボール部

私達は現在ブレイヤーが二年生六名、一年生三名、マネージャーが二年生一名の合計十名で活動しています。

私達の合言葉は、『心をこめて』です。

たとえ技術は未熟でも、魂のこもったバスケットボールをしたいと考えています。そして、それこそが勝利への近道だと考えます。

苦しさを乗り越え、厳しさを持つて練習に取り組みます。コートに流した涙と汗の多いチームが最後に勝つことを信じ、一日一日を大切にして行きます。

◇平成二十年度

キシイカツブ	第3位
高体連秋季大会	第3位
選抜旭川予選	1回戦
全道新人旭川予選	第3位
旭川地区春季大会	2回戦
高体連旭川支部予選	第3位

●男子バスケットボール部

私達は、二年生八名、一年生六名、マネージャー二名で足立先生の指導の下で活動しています。五月末に行われた高体連では、二回戦で当たる旭大高に勝つことを目標にしてきましたが、一回戦で東高に負けてしましました。

新チームでは、去年より身長が低いので、筋トレと走り込みをしつかり取り組み、強い身体と最後まで走り切れる体力をつけたいです。辛い時はみんなで支え合い、日々の練習を大切にしてベスト四を目標に頑張つていきたいと思います。

●剣道部

今年の剣道部は「男女団体全道大会出場」を目標に支部大会に挑みました。

しかしながら、気迫の欠如・経験不足が試合に出た形となり、男女団体ともに第三位に終わりました。「あと一勝・あと一本」の重さを、つくづく感じる結果となりまし

た。
今年の剣道部は「男女団体全道大会出場」を目標に支部大会に挑みました。しかし、気迫の欠如・経験不足が試合に出た形となり、男女団体ともに第三位に終わりました。「あと一勝・あと一本」の重さを、つくづく感じる結果となりました。

●山岳部

山岳部は現在三人で活動しています。研修というかたちでの参加でした。全員が

一年生で、経験がまったく無く色々とあぶなつかしかつたですが、ちゃんと三日間をすごすことができ、自分達なりには合格だたと思います。

来年は、メンバーをそろえ、地区大会突破を目指していきたいと思います。

●アーチエリー部

現在、アーチエリー部は三年女子一名、二年男子四名・女子一名、一年男子五名・女子二名の総勢十三名で活動しています。

六月十日～十二日に高体連全道大会がキロリゾート森の広場で行われました。男子は、団体七位でした。女子は、二名しかいませんでしたので、団体には参加できませんでした。男子は一年だけのチームでしたので、戦力は落ちません。来年の高体連で全国大会に出場できるように練習に励んでいます。また、女子は、一年生を含めて三名になりますので、団体戦に参加できるようになります。

高体連が終了し、部員数は一・二年十二名になります。二年の大木沙英さんを部長に新体制として始動しました。また、今年から旭川アーチエリー協会の高畑さんを外部指導者として招いて、アーチエリー部の指導にご尽力をいただいております。旭川アーチエリー協会の協力を得ながら、今年もさらなる飛躍を目指して頑張っています。

新体制で、まずは九月に行われます新人戦を目標に取り組んでいます。シングルアウトドアターゲットラウンドですので、一年生にとっては、厳しい大会となります。早く、七十m、九〇mがうてるようにしていきたいと思います。

●少林寺拳法部

今年は一年生が十三名も入部してくれ、男子二十三名・女子十二名で活動していま

す。

昨年夏の全国大会は、一昨年のような入賞者は出ませんでしたが、男子団体が二位で予選を通過するなど、着実に力がついたことを実感できる内容でした。

八月に現体制となつてからはさらに修練を重ね、全道新人大会では好成績を挙げ、春の全国選抜大会には男女揃って出場し、男子単独演武で波岸が二位と同点の四位という創部以来最高の結果を残せました。

六月の高体連全道大会では、男子の三年連続総合優勝は逃しましたが、男女とも団体・組演武で全国出場を果たせました。

来る全国高校大会では、昨年に続いて予選を上位で通過し、本選でも失敗を恐れず持てる力を全て出し、入賞者が出すことを目標に、一生懸命頑張ります。

◇高体連全道大会結果（入賞者）

（男子）総合4位

団体演武

☆吉田・石山・竹内・大橋・太田・下谷・

波岸（3年）・安井（2年）組：2位

組演武（二段以上の部）

☆波岸（3年）・安井（2年）組：3位

組演武（初段の部）

☆吉田・石山（3年）組

鈴木喜貴（2年）組：3位

単独演武（段外の部）

鈴木喜貴（2年）

3位

団体演武

☆中川・村上（3年）・大木・浜本・岡田・島田（2年）・渡邊・秋生（1年）

組：4位

組演武（二段以上の部）

田・島田（2年）・渡邊・秋生（1年）

組：3位

単独演武（段外の部）

☆岡田・島田（2年）組

3位

単独演武（段外の部）

岡田真理子（2年）

☆は全国大会（7／31～8／2姫路市）へ

参加
イオノンスプリングコンサート実施

●団扇部

五月二十一・二十二日の両日にわたり、室蘭市で高文連北海道高校団扇選手権大会が開かれました。

本校からは、二年の田中と一年の中村の二名がBクラスとAクラスの男子個人戦に

出場しました。

田中は一回戦を勝ち抜きましたが、二回戦で惜敗し、中村は一回戦で優勝した札北の三年生と対戦し敗退しました。

二人とも初の全道大会でしたが、この経験を今後の活躍につなげてくれると思つております。

●吹奏楽部

吹奏楽部は今春一年生十九名を迎えて、総勢五十四名で「聴衆に感動をあたえられる演奏をしよう」を目標に部員全員が一丸となつて精力的に演奏活動を行つております。

現在は北高祭や各種コンクール、第三十四回定期演奏会に向け毎日練習に励んでいます。

（平成20年度の活動内容および成績）

◇高文連上川支部音楽発表大会

吹奏楽コンクール部門 優良賞（3位）

◇北海道吹奏楽団体コンクール旭川地区予選 高等学校A編成の部 銀賞

◇北海道個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選 フルート独奏

フルート四重奏 金賞

クラリネット四重奏 金賞

クラリネット四重奏 金賞



◇校内活動
入学式・新入生歓迎会・野球応援・北高祭・卒業式にて演奏

●写真部

現在、写真部は、三年生八人、二年生一人の、合計九人で、主に、学校祭での展示と高文連に、より良い写真を出すことができるように、活動しています。

今後の目標は、高文連での入賞と、一年生の部員を増やすことです。

●美術部

今年度は一年生一名、二年生五名、三年生二名の計八名で活動しています。

昨年度の高文連大会では、全道大会参加権を得ることができました。

学内においては、学校祭のポスター等、宣伝・装飾などのデザインや制作にも全面的に協力しています。

これからも、日頃の成果を皆さんに喜んでいただけるような形で還元できるよう、部員全員で仲良く協力し合つて行きたいと思います。

◎平成20年度の成績

高文連全道美術展・研究大会

全道優秀作品賞

3年	三ツ井	悠花
2年	藤田	由里子
1年	成田	みくに
		全道入選

3年	瀬戸	はるか
2年	後藤	亜結
1年	猪狩	琴音

佐藤	麗花
杉本	直樹

吉田	美月
----	----

●音楽部

もともと合唱部だったという歴史をもち、いつから変質したかは明らかではないが、音楽が好きだというDNAだけは受け継いで今に至っているようです。現在は三十名を越える部員数で、全校生徒の5%を占めるまでになっています。そのわりに部室の面積は、おそらく校舎の全面積の〇・〇五%にも満たないのではないかと思われます。でも、まあそれもしかたがないかもしれません。活動が不定期であり、部員全員がそろつて活動するという部ではなく、眞面目に活動しようとする、周りに迷惑をかけるほど大音響になるというジレンマがあるからです。

などの楽器を駆使して、若者に人気の音楽をやりたいという人たちの活動の場です。楽器をやった経験がないという生徒も気軽に入部します。このフレンドリーなスタンスが部員数三十人超につながったのでしょうか。

本格的な演奏の練習をしようとすると、部室ではできません。スタジオなどを借り

てせざるを得ません。これが一つめの悩みです。それから発表の場が少ないというのが二つめの悩みです。今のところ、北高祭と十二月のクリスマスコンサートの二回しか発表の場がありません。そうすると全員がステージの上に立つということができません。三年生中心になってしまい、一年生はがまんせざるを得なくなるというのが現状です。

それでも、部員はこの部活動を楽しんでいます。今はちょうど北高祭前で、テーマソングの歌詞が決まり、それに曲をつけている最中です。自分たちが作った曲を生徒が喜んで聴いてくれるのは、音楽をやる者にとって嬉しいことです。いずれ、部員数に見合った面積の部屋を確保したいと願いながら狭い部屋で顔つき合わせ、ほがらかムードで活動している音楽部です。

●書道部

今年度は、部員十二名で楽しく活動しています。現在は、北高祭の展示や高文連への出品に向けて、日々練習に励んでいます。今年は昨年にも増して活気に溢れ、特に休日は床一面に作品が広がり、書道室が狭いと思うほどです。また、北高祭の展示では三年生による合作など、新しいことにも挑戦しています。室蘭で行われる全道大会を目指して、これからも頑張っていきます。

●演劇部

合同公演『氷点華』『へなちょこヴィーナス』の公演が、五月三十日に終了。山本君は冴えない中年サラリーマンを絶妙に好演し、佐藤さんはちよつと前の今時の女子高生を演じましたが、何よりも抜群のダンスを披露してくれました。佐久間さんは照明を担当、田中君は大道具、そして期待の新人中林さんは制作にまわりました。スタ

ッフに回った三人は役者の二人以上に、演劇がさまざまな人たちの協力の下に初めて成立することを学びました。五人ともこの経験を、次の学校祭、高文連に生かしていくことでしょう。

退職された宗像先生は今も週二回、講師として本校に来ておられます。きっと芝居が忙しくなると、今まで以上に働いている（ヨロシク）ことでしょう。なお宗像先生の後任には、佐藤先生（ナント数学の先生です）に来ていただきました。しかし、もっと強力なことに、今年度赴任された鈴木彦校長は、元演劇部顧問。いつも落ち着いた舞台を創造なされていました。私は勝手に「鉄イズム」と評していました。あと二、三人は部員が欲しいところですが、昨今の不況を生き抜く知恵である「身の丈にあつた生活」を心がけ、なんとか乗り切つていこうと考えています。

●華道部

現在、一年生二名、二年生二名、三年生三名の計七名で毎週水曜日に活動しています。少ない活動ながら、立岩先生のご指導の下、一人一人が着実に上達しています。また、学年問わず仲がよいので、部内の雰囲気もとてもよいです。

今年度も、積極的に活動をしています。稽古後は、生けたお花を廊下に展示して、たくさんの方々に見ていただいています。

男子部員が入部しました)があり、二年生六名、三年生九名、計三十五名で活動が始まりました。月曜日は芸能講師の立岩先生のご指導のもと稽古に励んでいます。木曜日は自主練習で、三年生が中心となり基本練習の席入や帛紗きばき等の割稽古を行っています。

●茶道部

今年度は、一年生二十名の入部(今年は男子部員が入部しました)があり、二年生



らってきた、旭川北高華道部、日本の華道の精神を守り続け、また、未来の後輩に伝えていくこうと思います。

私たち、これからも先輩方によつて守られてきた、旭川北高華道部、日本の華道の精神を守り続け、また、未来の後輩に伝えていくこうと思います。

七年の学校祭は日頃の活動成果を披露できる唯一のお茶会です。五月からはそれに向け、完璧なお手前を披露するため各々が時間をみつけてお手前の練習に励みます。

三年生は七月で引退し、八月からは二年生が中心となり部活動が行われます。一年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いでくれることでしょう。

これからも茶道を通して礼儀作法や人間の精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思います。

●インター・アクト部

私達インター・アクト部は、旭川北ロータリー・クラブの御支援の下、様々な活動に取り組んでいます。

インター・アクトとは、インター・ナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視野に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを主な目的としています。主な活動内容は次のとおりです。

①地域の美化・環境の保全の取り組み

・ゴミポイ捨て禁止運動への参加

・旭岳祭り会場跡地の清掃活動

・旭岳源水周辺などの清掃活動

・北高周辺のゴミ拾い

・北高林の植樹活動

②社会的弱者へのサポート活動

・各種の募金活動（赤い羽根・あしなが学生募金など）

・チャリティバザーへの参加によるカンボジアでの学校建設のための支援活動

③海外研修への参加

旭川冬祭り会場跡地の清掃活動
旭岳源水周辺などの清掃活動
北高周辺のゴミ拾い
北高林の植樹活動
社会的弱者へのサポート活動
各種の募金活動（赤い羽根・あしなが学生募金など）
チャリティバザーへの参加によるカンボジアでの学校建設のための支援活動
海外研修への参加

名づつ海外短期研修に参加させていた
だいています。
部員数が少なく、活動が思うにまかせない
ことが、日下の最大の悩みです。
我が部の活動の趣旨を理解していただき、
一人でも多くの生徒が入部し、また部員以外の生徒の皆さんも、ボランティア活動に
加わってくださることを、切に希望しています。

●文芸部

今年度は三年生三名、二年生四名、一年生三名と昨年度より一名増でスタートしました。部誌『玉響（たまゆら）』も現在第5号の編集中です。今回は卒業生からの寄稿もあり、充実度も増してきていますといえ

そうです。昨年度、全道コンクールで銀賞をいただけた部誌を今後更に質的に向上させられるよう、地道に研鑽を積んで行きます。

◇高文連上川支部文芸コンクール

・詩部門 佳作 元井 諒
・小説部門 優秀 成田 真也

佳作 千葉真里子
佳作 元井 諒

・短歌部門 佳作 吉住 理加
・部誌部門 全道推薦（全道大会銀賞）

●理科実験研究部

現在、理科実験研究部は一年生四人での活動を行っています。最初は、先輩がない為、何をやつたらいいのか、よくわかりませんでしたが、実験に関する本や過去の先輩方が行つた実験の資料、顧問の先生の意見を見ると、様々な実験を行つています。

最近では、学校祭に向けての準備を中心に行つて行つています。学校祭で来てくれる人みんなが楽しめるような実験を思つ

くがままノートに書き留め、今はそれを一つずつ実行していくつて実際に何をやるかを検討しているところです。たくさんの人が見に来てくれる事を祈っています。

（N H K 高校放送全道大会 6 / 16 ~ 18、
釧路市民文化会館）

番組部門で五年ぶりの全国大会進出！車いすでアーチエリーグ部の指導を続けてきた高畑さんに密着取材したテレビドキュメント番組「未来に繋がる弓を引く」で、専門家にも絶賛されて全体の四位入賞。アーチエリーグ部の部員たちと高畑さんの心の繋がりを見事に描いた秀作は、N H K ホールを目指します。

そして、本校アナウンス部にとつては三年連続となる、アナウンス部門での全国進出です。今や道北のNo.1アナウンサーとなつた本校三年の三浦さんが、全道でもNo.2の優秀賞獲得！堂々の全国大会進出です。昨年まで二年連続で準決勝に進出（全国ベスト60に入つて記念CDに収録されること）

を手にしているアナウンス部門では、一四位を独占という快挙を成し遂げ、朗読部門でも一・二・四位に入賞と、個人発表部

ラジオドキュメントでも三位入賞と、出場全部門で全道大会進出への切符を手にしました。昨年秋から数えると、合計で九個の地区大会優勝力アップが現在放送室に鎮座しております。特筆すべきは三年生五名（全員女子）の頑張りです。彼女たちは大会前に熱心に後輩たちの指導を行い、下を育てながら自らも勝つという理想を実現したのです。入学からこれまで、ひとりの退部者を出すことなく、先輩に敬意を払い、後輩への配慮を欠かさなかつたすばらしい生徒たちに、同窓生の皆様からも心からの祝福をいただきたく思います。全道大会が行われる釧路の地が、部員たちにとって更なる飛躍の場になることを祈ります。

●生徒会

これまで生徒会長は執行部員から選出され事が多かったのですが、今の北高の生徒会長は一般生徒から選ばれ、彼を中心として「前よりさらに生徒の意見をとり入れた生徒会活動」をめざして活動中です。その活動の一としてこれまでなかつた生徒会主催の「クリスマスイブイベント」を企画しました。生徒会メンバーで思考錯誤しながら何をやるか考え抽選会や音楽部によるライブ、吹奏楽部による演奏会が催されました。また校舎の前に執行部手作りのアイスキャンドルの設置や玄関にイルミネーションの装飾をし、クリスマスイベントを盛りあげました。こうして私たちの初めての試みである新企画は先生方、生徒の皆さん協力のおかげで大成功におわりました。

そして、今私たちは七月十一、十二日にある北高祭にむけて毎日頑張つてゐるところです。今年の学校祭も一般生徒や来客の方にとつて楽しいものになるように生徒会メンバー全員で協力しあい、最高の学校祭になるよう最善をつくします。

●放送局

（N H K 高校放送コンテスト上川留萌地区大会 5 / 20 ~ 21、旭川市民文化会館）
大躍進！日頃の地道な努力が実を結び、
これ以上はほとんど望めないという地区大会の好成績を収めました。既に総文祭出場

したもの、あと一步のところで決勝進出（全国ベスト10に入り、紅白歌合戦などが行われるN H K ホールで発表できること）を逃し、悔しい思いをしてきた先輩方でした

が、今年こそは！の思いで、N H K ホールを目指します。

他の部門では、ハイレベルな争いの中で惜しくも破れはしましたが、いずれの出場者・出場作品とも、全道の平均的な水準を十分に上回っていました。



北五十七	北五十六	北五十五	北五十四	北五十三	北五十二	北五十	北四十九	北四十八	北四十七	北四十六	北四十五	北四十四	北四十三	北四十二	北四十	北三十九	北三十八	北三十七	北三十六	北三十五	北三十四
副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長														
幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長														
幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事														
中野	中原	鈴木	和賀	荒井	中條	宇田	五十嵐	大友	阿部	池田	池田	松井	島	下本	細山	山田	山田	吉野	佐藤	武田	
雅由	由貴	宏始	裕則	麻菜美	百合子	拓也	智貴	桂	健司	辰徳	好幸	真子	謙治	泰志	康隆	麻紀	大輔	朋輝	明樹	貴浩	妙子
俊	俊	始	裕	百合子	智貴	桂	健	辰徳	好幸	真子	謙治	泰志	康隆	麻紀	大輔	朋輝	明樹	貴浩	要	隆司	拓
定二十三	定二十二	定二十一	定二十	定十九	定十八	定七	定六	定五	定四	定三	定二	定一	定北五十九	定北五十八	定北五十九	定北五十八	定北五十七	定北五十六	定北五十五	定北五十四	
副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	副幹事長	幹事長	幹事長														
幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長														
幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事														
板根	板根	泉	古川	菅野	山谷	小柳	千村	堀井	錦川	奥山	深谷	富美	寿雄	茂晴	輝雄	隆司	勤	冠	義治	一彦	紘
信男	誠明	雅明	敏彦	一智弘	敏弘	敏明	寿文	敦雄	健二	敏雄	寿雄	富美	雄	誠	篤	勤	章	治	吉男	洋	成史
誠	誠	明	敏	敏	一	智	敏	敏	健	敏	寿	富	美	雄	茂	次郎	輝	一	彦	紘	忠
定五十三	定五十二	定五一	定五十一	定五十	定四十九	定四十八	定四十七	定四十六	定四十五	定四十四	定四十三	定四十二	定四十一	定四	定三十九	定三十八	定三十七	定三十六	定三十五	定三十四	定三十三
副幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長												
幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長	幹事長													
幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事													
柴田	中原	太田	日塔	山中	上林山	山中	中原	太田	日塔	山中	上林山	山中	中原	太田	日塔	山中	中原	太田	日塔	山中	中原
祐涼子	明希	法仁	紀子	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和	和

幹事の皆様大変ご苦労様です

◎各期幹事に異動がありましたら同窓会事務局までご連絡ください。
(代表3名)

〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目1-19 遠藤 剛
TEL・FAX (0166) 53-3640

当番期
あいさつ



第44回同窓会実行委員長
北高33期 武田聰

次期当番期
あいさつ



第45回同窓会実行委員長
北高34期 飛驒野文彦

昨年の九月に三十二期の先輩方から同窓会のための引き継ぎを行い、あまりにも準備作業の多さに驚いたのももう一年前。いよいよあともう少し、とにかく自分たちができる仕事を一生懸命やつてきましたつもりです。準備作業が大変だったのはもちろんですが、この間に20数年ぶりに同級生に会うことができたり、仕事を進めていく中で、役員たちの絆がだんだん強まっていく実感がわいたりと、大変なことよりも楽しいことが多かつたように思います。一月の旭川で行われた同期会では、八十数名も集まり楽しい時間過ごすことができました。三月には札幌で三十数名が集まり、また楽しい時間を過ごすことができました。六月の東京会には、私自身は出席することはできませんでしたが、三十数名が集まり楽しめました。長い時間になつたと聞いております。この同窓会の仕事を通して、青春時代を思い出すことができたり、懐かしい仲間とかけがえのない時間を過ごすことができた

りと、大変な仕事以上のものを得ることができます。また、この仕事を引き受ける際に、同期の仲間たちが快く仕事を引き受けてくれ、一生懸命頑張つてくれました。すばらしい仲間との再会と、少しは成長した自分たちの今の生活を酒の肴に、また楽しい時間が過ごせればと思っています。いつも励ましてくださった本部役員の皆様、丁寧にご指導くださった三十二期の先輩方、さらには、花咲スポーツ公園の施設改修が始まっています。いつも協力をしてくださいました本部役員の皆様、丁寧にご指導くださいながらも、昼夜みに解体工事直前の旧市営球場に入り込み、野球をしたことなどが懐かしく思い出されます。また、完成したばかりのスタルヒン球場での野球応援。帯広での北北海道大会決勝は、延長十四回で惜しくも敗れしたことなど、野球部に友人の多かつた私は、今でも鮮明に覚えています。

私たち三十四期は、四年前にサブ幹事として同窓会のお手伝いをさせていたしました。その折りに同期三十名余りが集まり、それなりに年輪を重ねた仲間たちで、久しぶりの再会に話も盛り上がりました。すばらしい仲間との再会と、少しは成長した自分たちの今の生活を酒の肴に、また楽しい時間が過ごせればと思っています。いつも協力をしてくださいました本部役員の皆様、丁寧にご指導くださいながらも、昼夜みに解体工事直前の旧市営球場に入り込み、野球をしたことなどが懐かしく思い出されます。また、完成したばかりのスタルヒン球場での野球応援。帯広での北北海道大会決勝は、延長十四回で惜しくも敗れしたことなど、野球部に友人の多かつた私は、今でも鮮明に覚えています。

「まだまだ気分は高校生」のつもりでいたものの、いつの間にか四十を越え、時流れの速さには驚かされるばかりです。私たちが在学していた頃は、ちょうど花咲スポーツ公園の施設改修が始まっていた頃で、我が北高の周りでは、「スタルヒン球場」や新しい陸上競技場などが次々と完成していました。悪いことは思ひながらも、昼夜みに解体工事直前の旧市営球場に入り込み、野球をしたことなどが懐かしく思い出されます。また、完成したばかりのスタルヒン球場での野球応援。帯広での北北海道大会決勝は、延長十四回で惜しくも敗れることなど、野球部に友人の多かつた私は、今でも鮮明に覚えています。

来年は旭川北高創立七十周年にあたります。同窓会も第四十五回。当番期である私たちも四十五歳。偶然とはいえ、このような節目の時に当番幹事をさせていただくことに、不思議な縁を感じます。諸先輩からのアドバイスを頂きながら、旧交を温めたり、同窓の絆を実感し合えるような、そんな同窓会となるよう準備を進めてまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。最後になりましたが、旭川北高同窓会の益々の発展を祈念いたしまして、次期当番幹事のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

それから何度も同窓会をもちながら、「四十五歳になる年には、北高同窓会のメイン幹事だぞ」と思いつおりました。が、いざ来年と考へると身が引き締まる思いがします。

来年は旭川北高創立七十周年にあたります。同窓会も第四十五回。当番期である私たちも四十五歳。偶然とはいえ、このような節目の時に当番幹事をさせていただくことに、不思議な縁を感じます。諸先輩からのアドバイスを頂きながら、旧交を温めたり、同窓の絆を実感し合えるような、そんな同窓会となるよう準備を進めてまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。最後になりましたが、旭川北高同窓会の益々の発展を祈念いたしまして、次期当番幹事のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。